

自立と創造を目指す教育改革

21世紀の未来が一体どのようなものとなるのか、誰にも正確には読みとれない。それほど不透明であるし、これまで予測もできなかった事態が次々に地球規模で起きている。加えて科学技術・学術の進展のいちじるしい中で、「知の世紀」をリードしていくには、知的にも精神的にも体力的にもたくましい日本人を育成していくことが第一の急務であろう。

私は大臣在任中、20世紀型の「画一と受身」の教育から、21世紀型の「自立と創造」の教育へとさまざまな教育改革を進めてきた。小学校から大学にいたるまで、今や大きな変革の時である。日本の社会も又然りである。我が国のあるべき姿を考えながら、私たちの直面する課題を考えてみたい。

講師 遠山 敦子 氏

(前文部科学大臣)

略 歴：昭和37年 3月 東京大学法学部卒業
昭和37年 4月 文部省入省
平成 4年 7月 文部省高等教育局長
平成 6年 7月 文化庁長官
平成 8年 6月 駐トルコ共和国大使
平成12年 4月 国立西洋美術館長
平成13年 4月 文部科学大臣
平成15年10月 文部科学省顧問(平成16年3月まで)

著 書：「現代フレッシュマン論」(東洋経済新報社)
「トルコ 世紀のはざままで」(NHK 出版)
「こう変わる学校、こう変わる大学」(講談社)